



特集 伊奈町、桜も綺麗なんです！

県内最大のバラ園を持ち、バラを町の花とする伊奈町。毎年春と秋に町制施行記念公園には満開のバラが咲き、町内外を問わず多くの観光客が訪れます。しかし、春の伊奈町を彩る花はバラだけではありません。伊奈町「桜」も綺麗なんです！町内には、桜を見られる場所がたくさんあります。

今回の特集は、町内の魅力的な桜スポットを写真とともに紹介します。6ページには今年のさくらまつりの情報も掲載しています。

ぜひ伊奈町の素敵な桜を見に来てください！

日本人と桜

日本人にとって馴染みの深い桜は、春の訪れを告げる植物として古くから親しまれてきました。桜は穀物の神が宿るとされ、稲作神事に使用するために田畑の近くに植えられていたとされており、「万葉集」や「古今和歌集」などの有名な歌集にも桜が登場します。現代では毎年桜の開花情報が日本のメディアを賑わせており、ほかの植物に比べて話題関心の対象となることが多いことから、日本人が桜を好んでいることがわかります。



▲無線山桜並木



※ソメイヨシノ（染井吉野）

江戸時代後期に開発された品種で、江戸の染井村（現在の東京都豊島区駒込周辺）に集落を作っていた職人たちによって育成され、当時の桜の名所である奈良県の吉野山にちなんで最初に「吉野桜」と名付けられ、後に吉野山のヤマザクラと混同されないように「染井吉野」と命名されました。気象庁が桜の開花や満開を判断する「標本木」はこのソメイヨシノが採用されています。（沖縄県全域、鹿児島県・北海道の一部地域を除く）葉より先に花が咲き、若木から花を咲かせる特性が好まれ、現在日本で最も一般的な桜として知られています。

今年、町制施行50周年にちなんで、50本の桜若木を丸山スポーツ広場に植樹する予定です。この桜若木は宝くじの社会貢献広報事業の助成を受け、公益財団法人日本さくら会から寄贈されるものです。50本の桜が広場を囲むように咲くと、無線山桜並木に並ぶ伊奈町の桜の名所になるかもしれません。続報をご期待ください。



▲丸山スポーツ広場サッカー場

無線山桜並木に次ぐ 伊奈町の桜の名所が誕生？

無線山桜並木

伊奈町の桜といえば、「緑のトラスト保全第13号地 無線山・KDDIの森」の南側に植樹されている桜並木を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。約200m、実に41本のソメイヨシノ※が並ぶ桜のトンネルは圧巻で、開花時には多くの花見客で賑わいます。桜は手入れが非常に難しい樹木で、過度な剪定や消毒・害虫対策不足などにより、腐敗し枯れてしまうこともあります。しかし、無線山の桜は毎年適切な管理を行っているため、樹齢80年を超える今でも見事な花を咲かせています。